



歩こうかい 9 月例会(通算 385 回)

中山道をあるく ④



今須宿～柏原宿

2023 年 9 月 20 日(水)

天気:曇り時々晴れ ・参加者 13 名 <12,000 歩>

JR 関ヶ原駅 == 真宗寺 ... 車返しの坂 ... 寝物語の里 ... 楓の径 ... 照手姫笠掛地蔵 ...

柏原宿東見附跡 ... 芭蕉句碑 ... 問屋場跡脇本陣跡 ... 本陣跡 ... 高札場跡 ... 伊吹堂 ...

柏原宿歴史館(昼食) ... 造り酒屋 ... 薬師堂道標 ... 西見附跡 ... JR 柏原駅

暑さ対策で 7・8 月は休会の為、3 ヶ月ぶりの例会は足慣らしのやや短いコース。9 月になっても猛暑が続き、当日も暑さが心配されたが空はうす曇りで日差しはさほど強くなく、ウォーキングにはまずまずのコンディション。

今回初めて「るるぶ鮎サロン」から 3 名の皆さんに参加をいただき、総勢 13 名で関ヶ原駅からコミュニティバスとタクシーに分乗し今須宿はずれの真宗寺へ移動の後、約 3Km 先の柏原宿を目指し元気に出発。

しばらく歩き車返しの坂を経て、美濃と近江の境「寝物語の里」に着く。その名の由来は、昔、国境の小さな溝を隔てて建つ両国の旅籠の泊まり客どうしが、寝ながら話しができたからとのこと。安藤広重の「木曾街道六十九宿」に描かれた今須宿の図はこの地を描いたもの。又、街道の所々には、荒削りの古い石灯籠が建っている。



立派な鐘樓の真宗寺



車返しの坂



寝物語の里・国境の碑



安藤広重の「木曾街道六十九宿」今須宿 柱に「江濃兩國境」と描かれている





木陰で休憩



楓の径

照手姫ゆかりの笠掛地蔵を経て、30分程歩くと東見附に着き柏原宿に入る。柏原宿は約1.5Kmと近江最大級で、街道の左右には昔を偲ばせる家屋が軒を連ね、当時の職業や屋号が書かれた木札が掲げられていて歴史を感じさせてくれる。脇本陣・本陣・高札場等の跡に掲げられた案内版を確認しながら昼食場所の柏原宿歴史館へ。



照手姫笠掛地蔵



昔の姿を留める家が軒を連ねる



脇本陣跡案内版



造り酒屋の大樽

柏原宿歴史館は宿場内の中ほどに位置し、中山道に向けて三つの入母屋造妻飾りを重ねる重厚な表構えに特徴があり、一部を改装し喫茶「柏」が併設されている。特別に配慮いただき、冷房の効いた部屋で昼食を楽しんだ後、建物を背景に集合写真を撮り、西見附跡まで行き JR 柏原駅まで戻って 13 時 45 分の列車で帰路に就く。



昼食風景



柏原宿記念館前で集合写真

記: 奥村 正忠

参加者の感想を紹介致します。

私は歩こうかいの会員ではありませんが、支部会報で例会日程を確認し都合が良いときに参加しています。初回は令和4年4月の小牧山でした。慣れないウォーキングで迷惑をかけないかと不安な気持ちで集合場所に行ったところ、快く迎えて頂き嬉しく感じました。初めは後について歩いていましたが、会員の方から「疲れませんか」「楽しいですか」「無理は禁物」「熱中症に注意」と声をかけていただき、皆さんの会話にも溶け込むことができ、今回までに5回参加しています。

歩くことは良いことと思っていますが、一人では面倒でなかなか歩きませんので歩こうかいに感謝しています。きっかけの欲しい方、歩こうかいはいいですよ。(久保幸則)

